

博士前期課程 環境科学専攻 学位論文に係る評価の基準等

・学位審査基準

環境科学に関連する内容であって、学術論文として論理的にまとめられており、修士学位論文としての独創性、新規性、普遍性、論証性などの学術的価値が含まれていること。

・学位論文審査に係る審査体制

学位審査委員は、主査1人及び副査2人以上計3人以上の委員（必要に応じさらに加えることがある）で組織する。

・審査の方法及び項目

学位審査委員は、論文の審査及び最終試験を行う。最終試験は、論文を中心とし、これに関連のある科目について、日本語又は英語による口頭又は筆答により行う。

・学位授与に係る評価基準

修士論文の審査において主査・副査いずれもが修士に相当する内容と評価し、かつ最終試験について主査・副査のいずれもが60点以上と評価したときに合格とする。

※ 上に記した学位論文に係る評価の基準等はホームページ用にまとめたものであるため、詳細は学生便覧(学位審査基準, 学位審査規程, 学位論文審査手続要領等)を参照すること。